
国際資本市場協会（ICMA）年次総会・コンファレンスの模様について

平成 30 年 5 月 30 日～6 月 1 日

国際資本市場協会（ICMA）¹の第 50 回年次総会・コンファレンスが、去る 5 月 30 日～6 月 1 日にスペイン マドリッドにおいて開催された。

会議の概要は、以下のとおり。

- ○ ----- ○ -----
1. 開催期間 平成 30 年 5 月 30 日（水）～6 月 1 日（金）
 2. 開催地 スペイン マドリッド
 3. 参加者 ICMA メンバー他 約 1,100 名
 4. 会議の概要
 - ・ 今年のコンファレンスでは、MiFID II の導入（1 月）に伴う規制の変化、来年に予定される Brexit がもたらす不確実性、イタリア等 EU 諸国の不安定な政治状況等を背景に、規制が市場の流動性に与える影響、MiFID II が金融・資産運用ビジネスに与える影響、Fintech がもたらす効用とリスク、Brexit 後の Capital Markets Union（CMU：資本市場同盟）の意義等が議論された。また、ICMA が注力するグリーンボンド等 サステナブル・ファイナンスの拡大に向けた課題も主要トピックとして従来より多くの時間をかけて議論された（プログラムは別紙 1～2 参照）。
 - ・ 本協会は協賛団体として支援を行い、会議アプリへの広告掲載、展示エリアでの本協会が主催した国際イベントの DVD 上映、資料等の配布を行った（別紙 3 参照）。
 5. 次回総会の予定
来年の会合は、5 月 15～17 日にストックホルムで開催することがアナウンスされた。



¹ ICMA は欧州を中心に世界約 60 カ国 500 の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。本協会との間で 2008 年 1 月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、2008 年、2013 年、2015 年及び 2017 年に日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した。

6. コンファレンスでの議論の主なポイント

5月31日(木)

① 開会挨拶

- ・ Mandy Filippo, 国際資本市場協会 (ICMA) 理事会議長

金融資本市場は様々な課題に直面しているが、今回のコンファレンスでは、以下の三点にフォーカスしたい。

1) 規制とテクノロジーの変化

技術革新が金融取引・ビジネスのフローを変えつつあるが、規制がそれに追いついていない。

2) 市場分断のリスク

Brexit や新たに導入された規制によって、欧州が意図した市場統合に逆行して、市場分断が進むリスクが高まっている。

3) サステナブル・ファイナンス

気候変動への対処や公正な社会の実現に金融資本市場もサステナブル・ファイナンスを通じて貢献することが期待されている。ICMA はこれを認識し、既にグリーンボンド/ソーシャルボンドの原則を発出している。

これら諸点につき、業界、当局、市場関係者がどのように対応すべきか、議論を深めたい。

② 基調講演：銀行の伝統的な資金源

- ・ Javier Alonso, スペイン銀行 副総裁

金融危機後に導入された規制は、銀行のビジネス、特にバランスシートに載る取引に大きな影響を及ぼし、市場における資金調達の手法も変化させている。来年3月に予定される Brexit は銀行ビジネスにも様々な不確定要因をもたらしている。Brexit に関する英国と EU の主張には依然隔たりがあり、将来の取引、金融市場インフラへのアクセスに関する不確実性を高めている。銀行は様々な事態を想定して対策を講じなければならない。英国抜きの資本市場同盟 (CMU) は意味がないという見解もあるが、むしろ Brexit 後の欧州市場統合を維持するために、CMU の意義は高まっていると考える。

③ 基調講演：資本市場の将来、デジタルと持続可能性

- ・ José Manuel González-Páramo, ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 (BBVA) 会長

➤ 今年は ICMA 創設 50 周年に当たるほか、MiFID II 導入の年であり、かつ金融危機から 10

年の年になる。この特別な時に我々の市場は、技術革新の波と政治・社会環境の変化に直面している。これらの変化に対処し、どう経済成長に結びつけていくかが我々の課題である。

- ▶ 技術革新は市場、特に流通市場の効率を向上させた。ブロックチェーンや DLT は、さらに効率を高める大きなポテンシャルを持っている。一方で、AI を活用したロボアドバイザーや高頻度取引は夥しい数の市場関係者、顧客のリスクに影響している。現在の規制は、いわばアナログ時代の規制であり、ダイナミズムに欠け、破壊的な技術革新にはついていけない。より柔軟で国際的な協議・合意に基づいた規制が求められている。
- ▶ 一方で、資本市場関係者は、より社会の要請に沿った行動が求められている。パリ協定、国連の SDGs、欧州の「持続可能な金融に関する行動計画」等を踏まえ、グリーンやソーシャルの考慮を我々のビジネス及びオペレーションに取り込まなければならない。このためには、サステナブル・ファイナンスを促す規制、グリーン/ソーシャル要件の開示の更なる充実、持続可能でないファイナンスよりも有利な条件付け等に積極的に取り組んでいく必要がある。

④ パネル「ビジネスリーダーのフォーラムが世界的な金融市場戦略を語る」

Moderator : Cyrus Ardalan, Citi Global Markets Limited

Panelist : Samir Assaf, HSBC Holdings plc

Nils Bolmstrand, Nordea Asset Management

Piyush Gupta, DBS Group

Sylvie Matherat, Deutsche Bank AG

- ▶ 現在の資本市場に影響を与える要因として、金融危機以降の規制の変化、組織変更、消費者の行動変容が挙げられる。また、テクノロジーの進展により、データと IT 技術が業界における新たな比較優位の要素となっている。現在規制がかけられていない Fintech 企業の金融・証券ビジネス参入も予想される。
- ▶ 手数料のアンバンドリングにより、金融機関・資産運用業者はビジネスモデル・組織の変容を迫られているが、規模の経済による戦略を取りにくい小規模な会社ほど、負担が大きくなっている。
- ▶ 強化された銀行規制により、債券取引のメインプレイヤーは銀行から他の主体に移りつつある。
- ▶ 低金利、流動性低下、技術革新、高齢化等のビジネスを行う環境の変化と影響を理解し、その文脈で付加価値をいかに提供できるかを考える必要がある。
- ▶ インベストメントバンキングもデジタル化を取り入れていくべきビジネスの一つである。アンバンドリングに関し、既存のネットワークの活用も視野に入れ、サプライチェーンを

いかに構築するかが問われている。

⑤ 基調講演：収益性の追求：欧州における更なる金融市場統合の重要性

- ・ José Antonio Álvarez, サンタンデール銀行グループ CEO
 - 金融危機以降、欧州の銀行の資本は各段に強化され安定性は増したが、欧州経済の回復が米国より遅れていることも反映し、収益性は極めて低い。
 - 状況を打開するには、欧州市場の統合を進め、市場全体の効率性を高める必要がある。そのためには、1) 銀行同盟（Banking Union）の組成完了、2) 欧州における単一の規制、3) 資本市場同盟（CMU）の発足の三点が鍵となる。
 - 併せて、紛争処理システム、データ・個人情報保護、税制においても、域内の統合・調和が望まれる。
 - デジタル化はもはや経済現象となっている。規制を受けていない巨大な事業体が金融ビジネスに参画してくる可能性がある。「同じ活動には同じルールを適用する」という原則を堅持し、level playing field を確保することが肝要である。

⑥ 基調講演：より持続可能な成長のための資本市場同盟

- ・ John Berrigan, 欧州委員会 金融安定局次長
 - 資本市場同盟（CMU）は、経済成長を加速させる生産性の高い投資を促す触媒的な役割を担うものである。
 - 2015年9月に公表された行動計画（Action Plan）のうち、証券化商品の標準化など13項目が実施された。2017年6月には2019年までにレビューを予定する追加的な行動計画（Action Plan）が公表された。ここでは、持続可能なファイナンスとフィンテックが中心的な内容となっている。
 - Brexit は、CMU の意義を減殺するものではなく、むしろ高めている。英国が離脱しかつ CMU がなければ、欧州の金融資本市場は、より銀行に依存したものになってしまうだろう。CMU の下で市場統合を進め、域内の市場のどこからでも迅速かつ効率的に資金調達が行える自立したフレームワークを構築する必要がある。そのためには、税制、破産法、規制上の報告制度の統一も重要である。
 - CMU については、2019年までに EU 議会で 27 加盟国すべてによる共同受諾（collective commitment）が行われることが期待されるが、円滑な市場統合には市場関係者全体の貢献と協力が不可欠である。

⑦ パネル「国際的な資本市場：課題と機会」

Moderator : Martin Egan, BNP Paribas

Panelist : Thijs Aaten, APG Asset Management

Juan Blasco, Banco Bilbao Vizcaya Argentaria

Andy Cairns, First Abu Dhabi Bank

Sir Robert Stheeman, UK Debt Management Office

Pierre van Peteghem, Asian Development Bank

- 欧州では、イタリアなど一部の国で市場のボラティリティが高まっているが、英国を含む他の市場は少なくとも表面的には安定している。しかし、仲介業者の収益性低下によるビジネスの行き詰まり、プライマリー・ディーラーやマーケットメイカーの機能低下など、仲介機能や流動性供給に不安が生じている。ゼロ・低金利下の利回り低下により、年金基金の運用は厳しさを増している。イタリア情勢等の影響でボラティリティが高まっているが、市場では変化は機会につながるため、これを好感する向きもある。このままゼロ・低金利状況が続くと、欧州の債券市場は大量・低イールド・超安定したソブリン市場と、低取引・高ボラティリティ・ハイイールドの市場に二極化していくかもしれない。
- 中東の経済・市場は依然石油価格の動向に左右されるが、最近ではエジプト経済の回復もあり、債券の発行体の数・発行額が増加している。但し、そのほとんどが米国ドル建てで現地通貨建ては極めて限られている。
- アジア諸国の外貨準備はアジア通貨危機以前と比較すると格段に改善している。一方、今後アジア地域のインフラの維持・開発には、毎年 1.7 兆ドルの資金需要が見込まれるが、供給は 9,000 億ドルに過ぎず、このギャップを民間セクターが補てんすることが期待される。

⑧ 基調講演：ベンチマークの整合性と安定性に向けて

・ Steven Maijoor, 欧州証券市場監督局 (ESMA) 長官

- LIBOR のような指標はグローバルな金融取引に大きな影響を持つが、従来は規制がなく、対象取引が減少している中で不正操作を許した。ベンチマーク改革は立法府、規制当局、中央銀行にとって重要な課題となった。
- 2013 年に ESMA はベンチマークの策定に関する原則を、同年 IOSCO もベンチマーク原則を公表、2014 年には FSB が主要金利指標の改革案を示し、国際的に取り組みが進んでいる。
- 欧州委員会は EONIA、Euribor、LIBOR を最重要の銀行間金利指標に指定し、これらは国際的な監督カレッジにより規制・監督されている。また、欧州では、ベンチマーク規制

(Benchmark Regulation : BMR) の下で、移行期間が終了する 2020 年 1 月までに LIBOR に代わる指標を導入しようとしている。新たな指標は頑健(robust)で信頼性があり(reliable)、説明可能(accountable)である必要があるとの観点から検討を進めており、2020 年までにパブリック・ガイダンス及び Q&A の公表を予定している。

- LIBOR はシンジケートローンやその他の取引・契約に広く使われてきたため、これに代替する指標を策定するのは大変な作業になる。業界の貢献・協力を期待する。

⑨ パネル「国際的なベンチマーク改革」

Moderator : Paul Richards, ICMA

Panelist : Roman Baumann, Swiss National Bank

David Bowman, The Federal Reserve

Cornelia Holthausen, European Central Bank

Edward Ocampo, Bank of England

Edwin Schooling Latter, Financial Conduct

Authority, UK



LIBOR に代替する指標への移行について各国の状況が紹介された。

- 英国 FCA は、LIBOR に代わる指標の検討を進めており、2020 年に LIBOR は廃止予定である。もし仮に代替する適切な指標が見つからなかったとしても、LIBOR の使用を継続することはないが、LIBOR を使っていた契約をどう処理するかが大きな問題となっている。
- イングランド銀行は、ポンドの指標として既に銀行取引で利用されている Sterling Overnight Index Average (SONIA) を検討している。ユーロの指標としては実取引に基づく期日別の Euro Overnight Index Average (EONIA) について構造的強化とガバナンス改革、メソドロジーの検証を ESMA が事務局となって進めている。
- 米ドル LIBOR に基づく取引は約 200 兆ドル存在し、移行は金融安定上の課題ともなる。現状 LIBOR 廃止の影響は市場には表れていない。2014 年以降米国では FED の委員会が指標改革の検討を進めている。
- スイスでは政府に委員会を設けてスイスフランの新たな指標として、レポ取引をベースとする Swiss Average Rate Overnight (SARON) を検討している。

⑩ 基調講演：産業革新の難題

- ・ Julia Streets, Streets Consulting 創設者・最高経営責任者

- 近年、企業の成長には、Fintech、金融イノベーション、Regtech、AIなどの技術的要因が大きく影響する。技術導入に対応できる財務力とともに、サイバーセキュリティに関する頑健性の確保、データの活用が課題となる。
- システム改編に当たっては、顧客のビジネス戦略や市場の状況をよく理解した上でシステム構築に取り組むことが重要。
- 一方で、ダイバーシティ（多様性）が企業の生産性を向上させることが研究で明らかになった。これにはジェンダーだけでなく民族的多様性、人種、セクシャリティ、年齢、障がいの有無なども含まれる。

⑪ 閉会基調講演：

- ・ Arunma Oteh, 世界銀行 副総裁・財務局長
- ICMA は、1968年に19の債券取引業者で結成されて以来50年にわたり、国際的な債券市場の発展に大きく貢献してきた。
- 現在先進国のGDP成長率は2%であるのに対し新興国は4.5%であり、新興国が世界の成長をけん引しているが、引き続き資金ギャップに直面している。世銀は、先進国で起債し調達した資金を新興国に流すことで、これに対処してきた。
- 近年、環境・社会・ガバナンスの要素が投資判断に取り込まれている。グリーンボンドやワクチン債は投資者の需要を持続可能な金融商品と結びつけた成功例と言える。これら金融商品による長期的コミットメントを通じて資本市場が貧困国に対して果たせる役割は非常に大きい。
- 世銀は、新興国の保健関係プロジェクトや地震の被害救済に資金提供を行っているほか、感染症対策のため昨年史上初となるパンデミックボンドを発行した。
- 持続可能性の考慮は、個の利益から集団の利益へ、資金調達に係るバリューシステムを変革するゲームチェンジの機会である。

6月1日（金）

⑫ 基調講演：資産運用のトレンド

- ・ Barbara Novick, ブラックロック 副会長
- 金融危機後の規制改革の津波、OECDによるスチュワードシップ・コードの発出、ESGやサステナビリティに対する意識の高まり、Fintechとサイバーリスクの拡大等の影響を受け、資産運用業も変容しつつある。
- インデックス投資の拡大が資産運用ビジネスに大きな影響を及ぼしている。これは、投資

家がより長期に投資資産を保有する傾向が強まるとともに、ファンドマネージャーの手数料・報酬をより精査するようになったことと表裏一体の事象である。

- ▶ 運用資産におけるインデックスファンドの割合が伸びる中で、インデックスファンドのマネージャーも議決権の行使を通じて適切にエンゲージメントを行っていくことが求められている。

⑬ パネル「変化する資産運用業における挑戦」

Moderator : Robert Parker, ICMA

Panelist : Ibrahima Kobar, Ostrum Asset Management

Ingo Mainert, Allianz Global Investors

Nick Phillips, International Goldman Sachs Asset Management

Han Rijken, NN Investment Partners

- ▶ MiFID II による規制強化、ゼロもしくはマイナス金利の環境下で、手数料・報酬の透明性強化と引き下げに向けたプレッシャーが絶えず働いており、資産運用業は厳しい状況に直面している。20年前はわずかだったインデックス投資が今や大きなシェアを占めるに至り、この傾向に拍車をかけている。テクノロジーの活用等により、顧客により効率的なサービスと高い付加価値を提供することが求められている。
- ▶ 一方で、ESG に対する投資家の意識の高まりは、資産運用業に新たな商品需要をもたらす大きな機会となっている。欧州では、フランスの年金ファンドが厳格な ESG スクリーニングクライテリアを定め実施しているほか、オランダの年金も煙草産業には投資しないなど ESG によるスクリーニングを強めており、それが他の投資家にも広がり、メインストリーム化しつつある。この結果、クライテリアを満たした投資商品への需要は極めて強くなっている。アジアでも、中国が ESG 投資に非常にアクティブになっているほか、日本の需要も大きくなっている。ESG 投資は、長期的に投資先の価値を高める効果があり、資産運用の面ではテイルリスクを抑制する効果もある。
- ▶ Fintech は、資産運用業にとって、リサーチ機能の向上、コスト削減により収益力を高めるベネフィットもたらす一方、リスクあるいは脅威ともなり得る。特にアマゾン等の internet giants は、極めて容易に人々に金を使わせ、あるいは貸借させることができる。彼らが参入してきた時、従来の資産運用ビジネスに破壊的なインパクトをもたらす可能性もある。
- ▶ 次の金融危機が資産運用業から発生する可能性については、規制強化により銀行の流動性供給機能が低下していることは懸念されるが、金融危機後の規制強化の流れの中で資産運用業におけるリスクマネジメントは格段に強化されており、資産運用業が危機の震源となる可能性は極めて低いと考えられる。

⑭ パネル「債券の流通市場：急速な変化」

Moderator : Mandy DeFilippo, EMEA, Morgan Stanley

Panelist : The Viscount Bridport, bridport & co

Daniel Leon, AXA Investment Managers

Christophe Roupie, MarketAxess

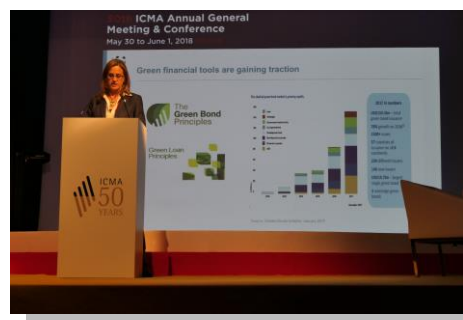
Torsti Silvonen, European Central Bank

- 金融危機後に強化された規制、特に銀行に対するリスクプレミアム、レバレッジレシオや安定調達比率規制（NSFR）により、債券市場の流動性の主要な供給者であった銀行の行動が制約された。この結果、債券市場の流動性は明らかに低下している。特にレポ市場では大きな影響が出ている。
- 一方で、流動性に関するデータ、透明性は十分とは言えず、業界・市場関係者と当局の間で流動性に関する情報共有・意思疎通が円滑になされていない。
- 流動性供給者として銀行に代わる役割を担う者の登場はあまり期待できない。流動性を望ましいレベルにまで回復させるには、銀行規制を緩和し、銀行がより多くの在庫をより少ないコストで保有できるようにする必要があるのではないか。

⑮ 基調講演 :

- ・ Margaret L. Kuhlow, 世界自然保護基金（WWF）
Finance Practice Leader

世界自然保護基金（WWF）では、1950年から「生きている惑星（Living Planet）インデックス」を公表し、環境破壊の進行を監視している。気候変動は自然と人間の生活に広範な影響を及ぼしつつある。地球上の生命は汚染されていない海洋の存在に依存しているが、今や海洋の80%が汚染の危険にさらされている。生きるのに不可欠な安全な水・食物へのアクセスにも不安が高まっている。都市に生活しビジネスに従事する人々にも、これらのリスクは認知されてきている。政策立案者も、G20、気候変動タスクフォース、パリ協定等を通じて対策に動き始めた。環境に最も影響を持つ国である中国でも、グリーンファイナンスの促進、ESGに関する意識の高まりが見られる。今後更に環境保護に向けた国際的な対話の促進が望まれる。WWFもこれを積極的に支援していく。



⑩ パネル「グリーン、社会、持続可能なファイナンスの発展」

Moderator : Ashley Schulten, BlackRock

Panelist : Matthew Bauer, International Finance Corporation

Suzanne Buchta, Bank of America Merrill Lynch

Antonio Cordero, Instituto De Crédito Oficial

Bertrand de Mazières, European Investment Bank

Dr. R. Seetharaman, Doha Bank

Yu Sun, Bank of China (UK) Limited,



- 欧州では、今年3月に「持続可能な金融に関する行動計画」が公表され、サステナブル・ファイナンス促進の機運が高まっているが、依然各年800億ユーロの資金ギャップが見込まれ、さらに資金を動員する必要がある。そのために、投融資の効果の明確化（*impact matrix*）、対象となる分野のより明確な分類・定義（*taxonomy*）、基準（*standards*）の更なる整備を国際開発金融機関（*MDBs*）と共に進めている。
- 中国では、グリーンファイナンス市場の育成には明確な基準（*clear standards*）と適切な誘因（*proper incentives*）が重要であるとの考え方の下で、中央政府がトップダウン・アプローチで進め（人民銀行が主導）、欧州に次ぐ世界第二位の市場となった。人民銀行では、グリーン投融資を適格担保に指定し、投融資を行った金融機関・機関投資家が資金調達をし易くしたり、銀行検査でもグリーン投融資をプラスに査定する基準を設けて、これら投融資を促進している。
- 中東でも、*SDGs* やグリーン・エコノミーの概念は広まりつつあり、湾岸諸国政府は共同でセミナーを開催するなどして、この動きをサポートしている。先般アブダビで湾岸諸国初となるグリーンボンドが発行された。
- *ICMA* が事務局となり、グリーンボンド原則の策定（2014年）・改訂（2017年）が進められてきたが、この間市場は着実に発展してきた。投資家の需要、引受サイドの関心の高まりと共に、発行体も政府・国際金融機関から一般事業法人へ拡大してきた。今後もグローバルに資本の動員が進めば、次の10年でこの市場はさらに大きく成長すると見込まれる。
- 国際金融公社（*IFC*）は世銀の姉妹機関として、民間セクターの力を動員しながら、収益性と成長を両立させるプロジェクトを推進している。*IFC* では、債券と並ぶ重要な *debt market* である貸付市場においてグリーンレンディングを促進するため、基準の整備を進め、官民の金融機関、大手の保険会社に参加を呼び掛けている。
- ソーシャルボンドの発行も伸びつつあるが、「ソーシャル」の定義は、「グリーン」より更に難しい。*ICMA* のソーシャルボンド原則では、保健や教育など対象となるプロジェクトを例示する一方、対象となる人々（*target group*）も例示しているが、濫用・誤用を防ぐためにも、更に明確にしていく必要がある。同時に「ソーシャル」の効果を測定で

きるものにするのが望ましい。

⑰ 基調講演

- ・ Mariano Sigman, Global TED Speaker, Neuroscientist and Author

脳神経科学の専門家が、ある判断を下すときには、判断に加わる人数が増加するほど誤謬を減少させ、個々の小グループの知恵を集約した場合は更に精度が上がる「Wisdom of Crowd（群衆の英知）」を紹介し、人間の決断に至る心理、組織として適切・妥当な結論を導く最適なプロセスについて解説した。

⑱ 閉会の辞

- ・ Martin Scheck, 国際資本市場協会（ICMA）チーフ・エグゼクティブ

今年次総会・コンファレンスの主催者、スピーカー、参加者の協力に感謝するとともに、創立から 50 年を超えた ICMA の下で関係者が今後も協働していくことを期待する。



以 上

(別紙 1)

国際資本市場協会 (ICMA) 第 50 回年次総会・コンファレンス プログラム抄訳

5月30日(水)

20:30 - 23:30 ウェルカム・レセプション

5月31日(木)

- 8:00 登録・展示開始
- 9:00 - 11:30 ICMA 年次総会 (ICMA メンバー限定)
- 13:30 - 13:05 開会挨拶：国際資本市場協会 (ICMA)
・ Mandy Filippo, 国際資本市場協会 (ICMA) 理事会議長
- 13:05 - 13:20 基調講演：銀行の伝統的な資金源
・ Javier Alonso, スペイン銀行 副総裁
- 13:20 - 13:35 基調講演：資本市場の将来、デジタルと持続可能性
・ José Manuel González-Páramo, ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 (BBVA) 会長
- 13:35 - 14:35 パネル「世界的な金融市場戦略におけるビジネスリーダーのフォーラム」
- 14:35 - 14:50 基調講演：利益の探求：欧州における金融市場統合の重要性
・ José Antonio Álvarez, サンタンデル銀行グループ CEO
- 15:20 - 15:35 基調講演：より持続可能な成長のための資本市場同盟
・ John Berrigan, 欧州委員会 金融安定局次長
- 15:35 - 16:25 パネル「国際的な資本市場：課題と機会」
- 16:25 - 16:40 基調講演：ベンチマークの整合性と安定に向けて
・ Steven Maijoor, 欧州証券市場監督局 (ESMA) 長官
- 16:40 - 17:30 パネル「国際的なベンチマーク改革」
- 17:30 - 17:45 基調講演：産業革新の難題
・ Julia Streets, Streets Consulting 創設者・最高経営責任者
- 17:45 - 18:00 閉会基調講演：
・ Arunma Oteh, 世界銀行 副総裁・財務局長
- 18:00 閉会の辞：
・ Martin Scheck, 国際資本市場協会 (ICMA) チーフ・エグゼクティブ
- 20:00 - ガラディナー

6月1日(金)

- 8:30 展示開始
- 9:30 - 9:35 開会の辞：
・ Martin Scheck, 国際資本市場協会 (ICMA) チーフ・エグゼクティブ
- 9:35 - 9:50 基調講演：資産運用の傾向
・ Barbara Novick, ブラックロック 副会長
- 9:50 - 10:50 パネル「変化する資産運用業における挑戦」
- 10:50 - 11:05 基調講演：
- 11:35 - 12:35 パネル「債券の流通市場：急速な変化」
- 12:35 - 12:50 基調講演：
・ Margaret L. Kuhlow, 世界自然保護基金(WWF) Finance Practice Leader
- 12:50 - 13:50 パネル「グリーン、社会、持続可能なファイナンスの発展」
- 13:50 - 14:10 基調講演：
・ Mariano Sigman, Global TED Speaker, Neuroscientist and Author
- 14:10 - 14:15 閉会の辞：
・ Martin Scheck, 国際資本市場協会 (ICMA) チーフ・エグゼクティブ
- 15:00 閉会

50th ICMA Annual General Meeting & Conference

May 30 to June 1, 2018 Madrid

(別紙 2)

Wednesday May 30, 2018

19.00 to 20.00

Drinks and canapés, El Pelicano Restaurant, Meliá Castilla Hotel prior to departure of coaches for the Prado Museum

20.30 to 23.30

Welcome Reception, Museo Nacional del Prado

Guest speaker Íñigo Méndez de Vigo, Minister for Education, Culture and Sport and President of the Royal Patronage of the Prado Museum

Thursday May 31, 2018

ICMA Annual General Meeting & Conference, Meliá Castilla Hotel

08.00 Registration and Exhibition open

09.00 Annual General Meeting (ICMA members only)

11.30 Lunch

13.00 Open of Conference

13.00 Welcome remarks

ICMA

13.05 Keynote address: Banks' traditional funding sources

Javier Alonso, Deputy Governor, Banco de España

13.20 Keynote address: The future of capital markets: digital and sustainable

José Manuel González-Páramo, Executive Board Director, Head of Global Economics, Regulation and Public Affairs, Banco Bilbao Vizcaya Argentaria

13.35 Panel: Forum of business leaders on global financial market strategy

Moderator: Cyrus Ardalan, Chairman, Citi Global Markets Limited

Panellists:

- Samir Assaf, Group Managing Director and Chief Executive Officer, Global Banking and Markets, HSBC Holdings plc
- Nils Bolmstrand, Chief Executive Officer, Nordea Asset Management
- Piyush Gupta, Chief Executive Officer, DBS Group
- Sylvie Matherat, Chief Regulatory Officer and Member of Management Board, Deutsche Bank AG

14:35 Keynote address: The search for profitability: the importance of a more integrated European financial market

José Antonio Álvarez, Chief Executive Officer, Santander Group

50th ICMA Annual General Meeting & Conference

May 30 to June 1, 2018 Madrid

14.50 Coffee break

15.20 Keynote address: A Capital Markets Union for a more sustainable growth
John Berrigan, Deputy Director-General for Financial Stability, Financial Services and Capital Markets Union, European Commission

15.35 Panel: The international capital market: challenges & opportunities

Moderator: **Martin Egan**, Vice Chairman of the Global Markets Client Board, BNP Paribas

Panellists:

- **Thijs Aaten**, Managing Director Treasury & Trading, APG Asset Management
- **Juan Blasco**, Global Head of Syndicate, Banco Bilbao Vizcaya Argentaria
- **Andy Cairns**, Senior Managing Director, Head of Global Corporate Finance, First Abu Dhabi Bank
- **Sir Robert Stheeman**, Chief Executive Officer, UK Debt Management Office
- **Pierre van Peteghem**, Treasurer, Asian Development Bank

16.25 Keynote address: Towards benchmark integrity and stability
Steven Maijoor, Chair, European Securities and Markets Authority

16.40 Panel: International benchmark reform

Moderator: **Paul Richards**, Managing Director, Head of Market Practice and Regulatory Policy, ICMA

Panellists:

- **Roman Baumann**, Head of Money Market, Swiss National Bank
- **David Bowman**, Advisor, Board of Governors, The Federal Reserve
- **Cornelia Holthausen**, Deputy Director General, European Central Bank
- **Edward Ocampo**, Senior Advisor - Markets, Bank of England
- **Edwin Schooling Latter**, Head of Markets Policy, Strategy & Competition, Financial Conduct Authority

17.30 Keynote address: The industry innovation conundrum
Julia Streets, Founder and Chief Executive Officer, Streets Consulting

17.45 Closing keynote
Arunma Oteh, Vice President and Treasurer, World Bank

18.00 Closing remarks
Martin Scheck, Chief Executive, ICMA

20.00 to 01.00
Gala Reception, Palacio de Cibeles

50th ICMA Annual General Meeting & Conference

May 30 to June 1, 2018 **Madrid**

Friday June 1, 2018

08.30 Exhibition open

09.30 Opening remarks

Martin Scheck, Chief Executive, ICMA

09.35 Keynote address: Trends in asset management

Barbara Novick, Vice Chairman, BlackRock

09.50 Panel: Challenges in a changing asset management industry

Moderator: **Robert Parker**, Chairman, ICMA Asset Management and Investors Council

Panellists:

- **Ibrahima Kobar**, Deputy Chief Executive Officer and Global Chief Investment Officer, Ostrum Asset Management
- **Ingo Mainert**, Managing Director and Chief Investment Officer, Multi Asset Europe, Allianz Global Investors
- **Nick Phillips**, Head of International Retail Client Business, International Goldman Sachs Asset Management
- **Han Rijken**, Global Head of Credit and Member of the Global Investment Leadership Team, NN Investment Partners

10.50 Panel: Secondary Bond Markets: a rapidly transforming landscape

Moderator: **Mandy DeFilippo**, Managing Director, Head of Risk Management for Fixed Income & Commodities, EMEA, Morgan Stanley

Panellists:

- **The Viscount Bridport**, Senior Managing Partner and Founder, bridport & co
- **Daniel Leon**, Head of Engineering and Execution – Multi Asset Client Solutions, AXA Investment Managers
- **Christophe Roupie**, Head of Europe and Asia, MarketAxess
- **Torsti Silvonen**, Deputy Director General, DG-Market Operations, European Central Bank

11:50 Coffee break

12.20 Keynote address

Margaret L. Kuhl, Finance Practice Leader, WWF International

50th ICMA Annual General Meeting & Conference

May 30 to June 1, 2018 **Madrid**

12.35 Panel: Developments in green, social and sustainable finance

Moderator: **Ashley Schulten**, Managing Director, Head of Responsible Investment, Global Fixed Income, BlackRock

Panellists:

- **Matthew Bauer**, Deputy Treasurer, Europe, Middle East & Africa, International Finance Corporation
- **Suzanne Buchta**, Managing Director, Global Head of ESG Fixed Income, Bank of America Merrill Lynch
- **Antonio Cordero**, Head of Funding and Treasury, Instituto De Crédito Oficial
- **Bertrand de Mazières**, Director General Finance, European Investment Bank
- **Dr. R. Seetharaman**, Chief Executive Officer, Doha Bank
- **Yu Sun**, Chief Executive Officer and General Manager, Bank of China (UK) Limited, London Branch

13.35 Keynote address

Mariano Sigman, Global TED Speaker, Neuroscientist and Author

13.55 Closing remarks

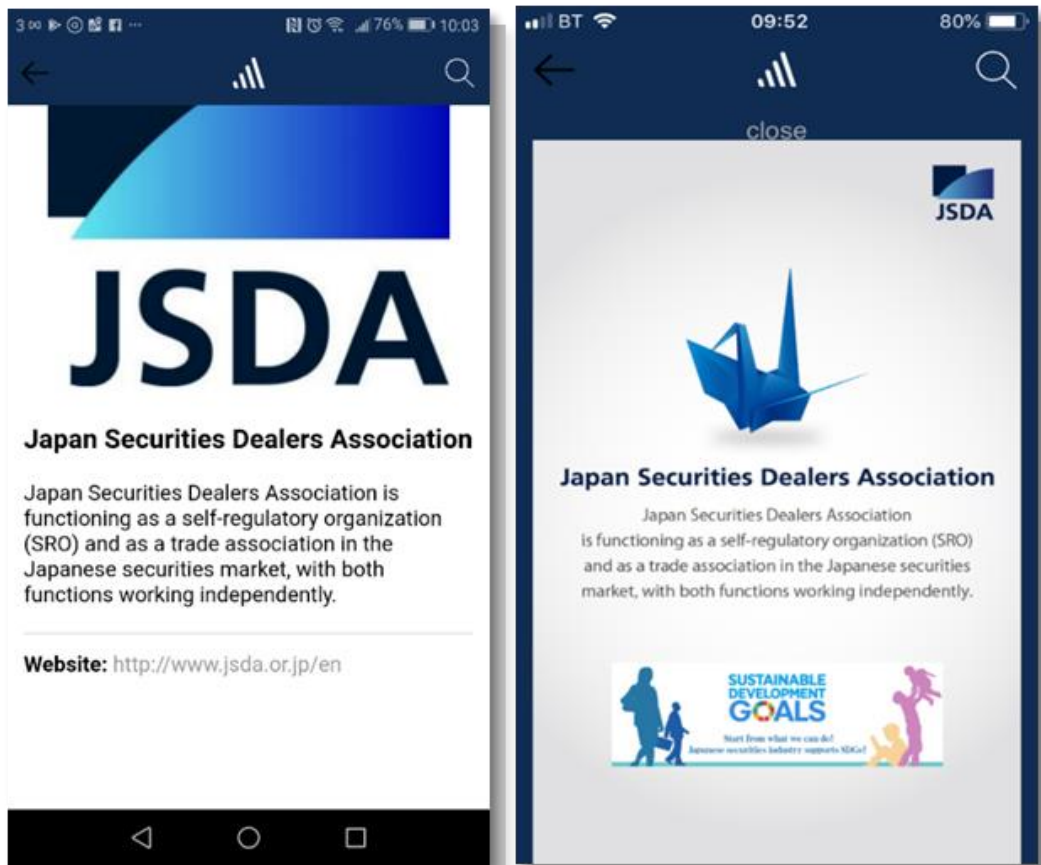
Martin Scheck, Chief Executive, ICMA

14.00 Lunch

15.00 Close

スマートフォンアプリ掲載広告・展示エリアの様子

【スマートフォンアプリ 掲載広告】



【展示エリアの様子】

